

最後の晩に戸をたゞげば 直ぐ起きた農家

買収を待つて居た證據

刑事連中の話

世間でやかましくいふ普通選も農村の有権者には一向徹底せず各地に投票買収が盛んに行はれたらしいが本郡でも選挙権を行使すれば當然いくらかの

恩恵に

ありつけるものと思つてゐるものが多かつた、この間の事情について平警察署の高等刑事連中はこもこも語る『今度の選挙は取締りがきびしかつたため運動員も自由に投票の買収が出来なかつたと見え、それでも農村の有権者の方が

大部分

木村夫人の語る候補者の妻の悩み

人様に話しても出来ぬ苦勞

新代議士木村清治氏のせい子夫人に敬意を表して戦ひ終る迄の御心勞は私達に御推察の及ばぬ御苦心を續けてゐられたのでせうねと先づ平凡な質問を

發する

と言ひ知れぬ喜びを胸に包んで「候補者の妻としての悩みは明治四十四年の縣會議員選挙を始のとして前後三回の選挙を味はつて居りますからもう覺悟もきまつて居りましたが今度の選挙は始めて行はれました普通選挙でもあ

皆様の

御同情にむくゆる任務の果せ得る様働

いて貰ひたいと思つてゐます」と新代議士夫人として抱負を語つてくれた

本町長辭職

湯 當分は缺員

石城郡湯本町では町長高木巳之吉氏の排斥騒ぎから紛

浅間山噴火の灰が平町に降る

汽車も運轉を休止した

昨日の暴風

濱通り一帯は二十三日夜來猛烈な暴風襲來し廿四日午後に至り益々その猛烈の度を増し多数の人家を倒壊し

擾々續け後期町税戸數制の如き二月に入つても徴税令書の發する能はず町財政逼迫してゐた高木氏はこの程辭表を提出し退職したので町會ではこれを承認し當分の間町長は缺員とする事になつた

警察當局

今度は泥棒退治

今が其時期

成育は順調

麥作も目下追肥の時期で早く施さねば後の祭になるが現在の成育状況は年末の陽氣でわざはひされたもので

平警察署では本月に入り殆ど選挙騒ぎで署内がらあきの状態となり之が取締に日夜腐心して來たので大泥小泥各所に横行を見るに至つた爲今度は泥棒逮捕に又しても繁忙を呈するに至り刑事連のざわめきを見て選挙



家庭欄

揚豆腐味噌汁

滋養豊富な白味噌汁です同じく五人前の材料は豆腐一丁、あさり一合、胡麻油白味噌十四匁、煮

出汁、ほうれん草豆腐一丁は前のやうにして充分水氣を切り、五分角位に切つて胡麻油の煮立つた中に投じて揚げ、まはりに狐色のこげ目がつきましたら紙にとつて油氣を切つておきます、あさはらに洗ひ薄鹽水に浸してふり洗ひをなし水氣を切つておきま

す、白味噌四十匁を摺り鉢に入れて摺り、煮出汁を少々加へてゆるめ味噌こしで鍋にこし入れ火にかけ更に煮出汁を加へて五合ほどにし煮立ちましたら火から下し直ちに椀にもり中へ二寸位に切つたほうれん草を添へてすゝめます

無産各派の出現

炭礦に齎す影響

民政派と結合を憂慮する

今後労働争議の向背如何

常磐地方に於ける各炭礦では今回の總選挙に當り無産各派代議士の出現に對し今後労働争議の場合に如何なる影響を招徠すべきかに關しそれ／＼考慮の結果無産各派は比較的現在の

野黨たる

民政黨と提携結合すべき性質多分なるを看取し心竊に與黨に於て多数を制するを祈念してゐたものゝ如くであつた事實は期待に反し野黨割合多

地方選出

民政黨代議士がその去就を決するが如き場合あらば會社側にとつて或る程度の影響は免れ難いものがあるといふので會社内外の一部有識者は今度この方面の動きに對し極めて神経過敏な觀察を拂はんとしつゝあるの情勢にあ

第三區の戦跡

戦ひは終つた、すべての人が興奮状態を續けた三旬日も今から考へればまるで夢の様だ、嵐の去つた跡は平

静が甦る、選挙の終つた跡には涙が二様の一悦びの、悲しみ

江名組合改選

石城郡江名町信用組合では今回左の如き役員改選をなした

▲理事 中田政吉、太清右衛門、澤辰之助、吉田政雄、左藤徳太郎、阿部嘉藏、吉田藤吉、▲信用評定委員 山田庄司、吉田庄之助、小山茂吉、田中扇五郎、吉田權右衛門、酒井辰造、田中宇之助、阿部七之助

靴泥棒二人

平署に捕はる

住所不定石城郡夏井村大字上大越生れ前科一犯佐藤喜芳(二)は一昨年横濱區裁判所にて窃盜罪に依り懲役一年の刑を受け放免されて後各地を徘徊し去る十三日午前四時頃平町四丁目靴製造菊地現十方店頭陳列窓の硝子を破り赤靴二足黒靴一足(代廿五圓)を窃取した外十五件の窃盜を働きたり柴崎刑事に逮捕され、また住所不定群馬縣生れ樋口智彦(三)は去る廿日午後九時頃平町町大塚鳳三郎方から黒靴一足を窃取した外窃盜六件を犯し猪狩刑事に逮捕され二名共平署に於て取調中

春作の講演會 石城郡神谷村本縣農事試験分場にては六日午前九時より農事講習會を開き試験場技師伊藤孝三郎氏の春季に於ける園藝作物を病虫害に關する講演ある由

調をとつた事は雄辯に物語るものである、若し木村氏が落ちたなら弊城に大政變が起きると豫想した者もあるが此の結果から見れば石城政友會は無事平穩、其の基礎の鞏固さを裏書したことになる

の——涙がある、縣下を通じての混戦地であつた、第三區の選挙樂屋を覗いて見ると、今後の政變と將來への大きな参考資料ともなるものが可成り多い

石城郡で木村氏が集め票は豫想外と云ふ者がある、然しそれは新舊の政友が折合が取れてゐないを考へた人が見た事で、石城政友が全力を擧げてどつた票にしては物足りない程だ、相手が比佐氏でなかつたらもつとより以上取つた事は疑ひない事實だ、郡南の得票、平町の得票、濱通りの得票等それは政友會として同一歩